



2010年8月 号外

民主党プレス民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

民主党参議院比例区第37総支部代表

# 大島 九州男 特集号

〒822-0022 福岡県直方市知古 764-1  
☎0949-22-0576 / FAX0949-24-3110

http://KUSUO-O.NET

## 第22回参議院議員通常選挙 選挙区28, 比例代表16議席獲得

# 比例第一党は堅持



第22回の参議院選挙の投開票が7月11日に行われ、民主党は選挙区で28議席、比例代表で16議席、計44議席を獲得、非改選と合わせて106議席となりました。比例代表では18,450,140票(32.56%)を獲得して2004年以来、3回連続で第一党を堅持しました。

民主党はこの参議院選挙で選挙区公認61人、推薦2人、比例代表45人の候補を擁立し、参議院での与党過半数を目指して戦ったものの、目標に届かず過半数を下回りました。

民主党は選挙戦を通じ「強い経済、強い財政、強い社会保障」を一体的に実現することで、この20年にわたる日本の閉塞状況を出し『元気な日本を復活させる』事を訴えました。また、自民党政権の下の負の遺産である税金のムダ遣いの一掃や、ムダな公共事業を中止し、必要な分野、社会保障、子育て支援に重点をおいた政権の実績を示しました。しかし29の改選議席数1の選挙区で8議席しか獲得できなかったことが、獲得議席に大きく響きました。

また改選数3以上の選挙区で2議席獲得を目指した埼玉・千葉・神奈川・大阪の4選挙区ではそれぞれ1議席しか獲得できず、2議席を獲得したのは、東京と愛知の2選挙区に留まりました。

## 第22回参議院議員選挙戦

今回は、昨年の政権交代によってスタートした「国民の生活が第一。」の政治をさらに前に進めるのか、それとも古い政治に逆戻りさせるのか、それを問う重要な選挙でした。

大島九州男参議院議員も、北は北海道から南は奄美大島と全国を東奔西走して、証紙貼りの手伝いや、支援の輪を広げるため遊説と移動の連続でした。

厳しい選挙でしたが、全国各地での皆様の力強い励ましやご支援に感謝すると共に、選挙結果を真摯に受け止め、政権与党として責任ある政権運営に努めていくよう、改めて身の引き締まる思いを受けました。



<6/27 公示日>

熱い選挙戦が始まる。福岡での第一声式にて支持を呼びかける。

<7/11 投開票>

仲間の議員の厳しい選挙戦を経ての当選確定。事務所は歓喜に包まれる。



## 地域を元気にする



5/21の仕分け事業の対象になった(財)河川環境管理財団は、国からの支出が1,490万円と突出しており、管理方法を見直し国からの支出を行わない方針を決めました。

また、全国に約60ある類似した河川環境施設にも事業の在り方などを見直すように求めました。

しかし、施設の中には環境学習の拠点として独自の活動をしている施設もあります。

大島参議院議員の出身地にある「遠賀川水辺館」もその一つです。地域住民の幅広い世代と活動し、昨年はトルコで行われた「世界子ども水フォーラム」に日本代表として3名が参加し、世界につながる子どもたちが育っています。

大島九州男参議院議員は、国交省の河川事務所・直方市と、事業の在り方について意見を交換し、地域に根ざした活動を存続させるために三位一体となって協力し、地域の元気につながるために今後も協議していく事を確認しました。



支援者と「心をひとつ」にしての公選ビラ証紙貼り

鹿児島市天文館にて候補者と練り歩き

鹿児島市内にて応援遊説

## 豪雨災害視察



7月18日に7月13日14日の豪雨災害を受けて、津川祥吾・国土交通省政務官が福岡県を視察に訪れました。

大島九州男参議院議員は、出身地の直方市で津川政務官を受け入れ、向野直方市長とともに昨年の被害のあったJR直方駅前とアーケードの状況を説明。今年は新しく出来たポンプ場の稼働により、毎年受けていた被害を免れた事を説明しました。

毎年この時期に起こる豪雨災害から、国民の不安を取り除くための施策を強く要請しました。

